

IPA との意見交換会開催報告

令和 6 年 2 月 8 日(木)、JISA と(独)情報処理推進機構(IPA)の両幹部による意見交換会をアルカディア市ヶ谷で開催した。本会合は、両団体の連携維持強化を目的として開催している。

JISA からは、福永会長、尾本、富安、長坂、藪田副会長、松田参事・人材委員長、宮本副会長・専務理事、栗田常務理事・事務局長、手計理事・事業推進本部長、IPA からは、齊藤理事長、小宮山理事、奥村理事、守谷参事・総務企画部長、各センター幹部ら、21 名が出席した。

冒頭、福永 JISA 会長、齊藤 IPA 理事長から挨拶があった。福永会長は、コロナが収束したわけではないが、フィジカルなパーソントゥー パーソンの対話は信頼感を醸成するには必要。IPA と JISA は、従来から戦略的な関係を築いてきたが、更なる飛躍を図っていきたいと述べた。続いて、齊藤理事長からは、コロナで感染を防止したことでかえって人間が弱くなっている面があるように思う。その意味で様々な人たちとの交流が重要であるので、ぜひ一緒にやっていくことを希望する旨の挨拶があった。

出席者紹介の後、守谷 IPA 参事より「戦略的関係の構築に向けて」と題するディスカッションペーパーの説明があった。これは、JISA と IPA の関係維持・強化を図るとともに、双方の事業の円滑な実施を確保することを目的として提示されたものである。

その内容は、情報サービス業界の変化と将来像、IPA・JISA で互いにアクションを起こしていくテーマの候補である。

そのテーマのうち、IPA から特に JISA との連携を図りたいテーマとして「ソフトウェア産業調査と開発定量評価刷新を通じたソフトウェア業界の革新」が示された。これはソフトウェアエンジニアリングと共に、先頃 JISA が協力して実施した「[2023 年度ソフトウェア開発に関するアンケート調査](#)」結果の報告があった。

(田中)